



各 位

平成 20年 2月 15日

会 社 名 若築建設株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 福 島 章 雄  
(コード番号 1888 東証第1部)  
問 合 せ 先 執行役員経理部長 衣 非 勉  
TEL (03) 3492 - 0273

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成19年11月22日に公表した平成20年3月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成20年 3月期通期(個別)業績予想数値の修正(平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (平成 19年 11月 22日 発表)	86,000	1,200	500	100
今回修正予想(B)	86,000	700	100	100
増減額(B-A)	-	△ 500	△ 400	-
増減率	-	△ 41.7	△ 80.0	-
前期(平成19年 3月期)実績	79,111	△ 796	△ 1,357	△ 11,531

#### 2. 平成20年 3月期通期(連結)業績予想数値の修正(平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (平成 19年 11月 22日 発表)	92,000	1,300	1,300	800
今回修正予想(B)	92,000	800	700	600
増減額(B-A)	-	△ 500	△ 600	△ 200
増減率	-	△ 38.5	△ 46.2	△ 25.0
前期(平成19年 3月期)実績	81,571	△ 697	△ 131	△ 10,347

### 3. 修正の理由

#### (個別業績)

売上高は前回予想通りの860億円となる見込みですが、営業利益、経常利益につきましては、コスト削減施策の実施や事業所の構成見直しによる経費圧縮を進めたものの、受注競争の激化や資材価格の高騰により工事採算が悪化し、営業利益は5億円減の7億円(前回予想12億円)、経常利益は4億円減の1億円(前回予想5億円)となる見込みです。しかしながら、投資有価証券の一部売却等により特別利益22億円余を計上する見込みであり、特別損失16億円余(減損損失、固定資産売却損等)を計上後の当期純利益は前回予想通りの1億円となる見込みです。

なお、平成19年12月期(第3四半期)におきまして、特別利益19億円(主なものは投資有価証券売却益15.8億円)、特別損失16億円(主なものは減損損失および固定資産売却損13.5億円)を計上しております。

#### (連結業績)

主に、個別業績予想の修正に伴うものと、連結子会社及び持分法適用関連会社の業績の低下によるものです。

### 4. 今後の取り組みについて

当社は、建設市場の変化等により経営環境が一段と厳しさを増す中、市場の動向および事業規模に応じた要員の適正化を図ることを目的とした希望退職者の募集を行うとともに、効率的でコンパクトな組織を目指して本社組織の合理化・効率化を一段と推し進める組織改革を実施することで、安定的な利益確保を可能とする経営基盤の構築を図ってまいります。

なお、希望退職制度の内容につきましては「希望退職者募集に関するお知らせ」(平成20年2月15日付)に記載の通りであります。

また、当社は採算重視の受注戦略を徹底することによる量から質への経営転換を推し進めるため、平成20年度を初年度とする「第15次長期計画」を現在策定中であります。同計画における損益計画は以下の通りです。

#### 《個別損益計画》

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成19年度(H20年3月期)	86,000	700	100	100
平成20年度(H21年3月期)	86,000	1,100	500	100
平成21年度(H22年3月期)	84,000	1,200	600	300
平成22年度(H23年3月期)	80,000	1,600	1,000	500

※平成20年度は希望退職に伴う特別加算金(特別損失)を計上する見込みです。

以上